

## 試料・情報利用研究計画書(概要)

審査委員会 受付番号	2022-1013	利用形態	共同研究		
研究題目	メタボローム解析による緑内障バイオマーカーの探索		研究期間	2023年1月～2024年12月	
代表研究機関	東北メディカル・メガバンク機構		責任者 氏名・職	小柴 生造	教授
分担研究機関	東北大学医学系研究科		責任者 氏名・職	中澤 徹	教授
研究目的と意義	血漿を対象としたメタボローム解析を行い、原発開放隅角緑内障に特徴的な代謝物を調べます。				
研究計画概要	核磁気共鳴によって測定される血漿代謝物濃度を用いて病気のある方とない方を比較する研究を行います。				
利用試料・情報	対象: 東北メディカル・メガバンク計画コホート調査で眼科検診を実施した参加者 約900人 試料: なし 情報: 基本情報、検体検査情報、調査票(生活)情報、特定健康診査情報、生理機能検査情報、メタボローム解析情報				
期待される成果	特徴的な代謝物の情報を用いて、神経の障害が進む前に緑内障を発症する可能性が高い人を見つけたり、個人の体質・環境に合わせた効果的な治療が行えたりできるようになる可能性が期待できます。				
倫理審査等の経過	2023年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会 承認				
倫理面、セキュリ ティー面の配慮	人を対象とする生命科学・医学系研究の倫理指針を遵守して研究を実施するとともに、ToMMoが定めるセキュリティポリシーに沿って試料・情報を管理します。 このほか、東北大学眼科を受診した患者さんから、同意を得て取得した試料・情報を利用します。				
その他特記事項	大学運営費交付金				
	* 公開日 令和5年2月3日				